



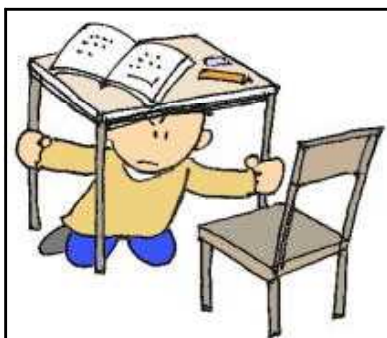
根堀台だより

平成29年11月2日

第70号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

第2回避難訓練 地震と火災に備えて



11月1日(水)の3校時、第2回避難訓練を行いました。今回は、地震に伴い校内で火災が発生したという想定での避難訓練でした。

10時35分過ぎに、緊急地震速報の受信と地震発生 of 校内放送が入り、子どもたちは机の下にもぐり安全を確保しました。その直後、食堂付近で校務員さんによる火災発生 of 火事ぶれがあり、教職員による消火活動を行うものの鎮火せず、119番通報と全校生徒の避難誘導を行いました。子どもたちは指示に従い、無言で速やかに行動し、グラウンド集合完了までに要した時間はわずか3分40秒でした。



消防署員の方からは、「押さない・走らない・しゃべらない・戻らない」のポイントをしっかり押さえた避難行動であったとお褒めの言葉を頂きました。また、今回は避難訓練の一環として「煙体験」をすることから、火災における煙の怖さについてもお話がありました。例えば、「煙が拡がるスピードは歩くスピードよりも速いこと」「煙の熱さで喉がやけどをして腫れ

ると、気道が狭くなって呼吸困難に陥ること」「一酸化炭素を一回吸うだけで意識が無くなること」など、火事では煙で命を落とすケースが極めて多いことを学びました。

防災の集いが終わった後、玄関前で「煙体験」を行いました。通常よりも少し濃いめの煙のためテントの中は全く見えず、障害物もあったことから、どのグループもテントを抜け出すまでに予想以上に時間がかかりました。また、煙を吸わないために自分なりに低い姿勢をとっているつもりでも、意外に低い姿勢にはなっていない場合が多いようです。「煙体験」ではパニックにならないためわざと白い煙にしているそうですし、姿勢が本当に低ければ地面がはっきり見えるそうです。

実際に火災現場で身をかがめて避難していても、出口の光が見えた途端に安心して立ち上がって煙を吸い込んでしまい、入口付近で亡くなる方が多いという話を聞いたことがあります。この「煙体験」で、子どもたちはかなり「煙の恐ろしさ」について学ぶことができたように思います。子どもたちには、避難訓練は「自分や家族、仲間を守るため」「みんなが生き残るため」にするものだとお話ししました。できればそんな状況には遭遇したくありませんが、まさかの時には是非この経験を生かしてほしいものです。

校長先生の話聞いて煙を吸ってしまうと、やけど、呼吸ができなくなってしまい死んでしまったりすると分かりました。火災時は「おはし」を忘れないで行動しようと思います。煙体験をしたら前が見えなくてみんながどこにいるのか分からなかったです。このことを経験に自分の身を守りたいです。(1A00 00)

今日は地震・火災の避難訓練がありました。火災の煙は一酸化炭素が入っていて校長先生は吸ってしまい呼吸ができなかったと言っていました。それほど怖い物なんだなと知りました。防火の弁論で言っていたように、火を消したかなどのことをしっかりして、防ぎたいと思いました。(1A00000)

今日は煙の怖さを知ることができました。校長先生のお話にあったようなことがもし起こったら、自分に何ができるのか考えて行動できるようにしたいです。煙体験ハウスに入ってみて、少し離れている人は見えることに気が付きました。実際に起こった時の煙は黒くて、前が見えないと思うけれど姿勢を低くして煙を吸わないようにしたいです。(1A00 0)

僕は火事を見たことはあるけど煙を見たことは無かったので危険さが分かりませんでした。煙を吸うことで息ができなくなるなんて怖いです。息を吸ったり吐いたりできなくなるのはそれだけでも怖いけど、煙は熱を持って気管がやけどをするというので本当に怖かったです。火事＝火ではなく、煙の存在にも気を付けて生活していきたいです。(2A00 00)

煙体験をして予想以上に前へ進めませんでした。前が全く見えなくてハンカチを口に当てても苦しかったです。本当に煙って怖いなと思いました。自分の身を守るためにも今日学んだ煙の恐ろしさを忘れないようにしたいです。このことを家族と話し、自分の大切な人の命も守れるようにしたいと思います。人間は災害に対して無力なんだなと思いました。(2A00 00)

先生が大声で「誰かいなか」ということを確認するなどいつもと違う点があったけど冷静に行動することができました。火事で一番怖いのは火だと思っていたけど煙でした。校長先生のお話を聞いて煙はどんなに恐ろしいものかを知ることができました。小学校の煙体験より煙が濃く、何も見えない状態でした。進んでいくうちに前が見えない分、歩くスピードも遅くなり、息を吸って吐くのも大変で、不意に煙を吸ってしまいました。その時から息をするのが苦しくて倒れそうでした。火事がおこったら煙を一番避けたいです。(2A00000)

今日は地震→火事という流れでこの先本当に起こりそうな気がしました。放送を聞いた時、反射的に机に隠れて先生の指示をよく聞き「おはし」もしっかり守って避難できたと思います。また煙の話聞いて火事の際の煙は本当に危険だと改めて思った。(3A00 0)

火事で怖いのは炎だと今まで思っていたが避難訓練を通して煙が一番怖いのだと分かった。煙体験でも足下まで煙が来ていて、これが本当の火災だったら、中で笑ったりすることもできなかったと思う。今日は白い煙だったが、火事の際は真っ黒で何も見えないと思う。今日は本当に貴重な体験ができた。(3A00 00)

火事が起きた時、煙が一番恐ろしいと知った。煙を吸ってしまうと息が吸いにくくなってしまいう他、胸まで苦しくなると知った。煙体験をしてみて、進みたいのに前が全然見えなくてなかなか進めなかった。だけど、姿勢を低くすることで少しは進めたけど進められた。もし、自分の近くで火事が起きてしまったら、煙を吸わないようにすることと、姿勢を低くすること、「おはし」を守って行動したいと思う。(3A00000)